

学長定例記者会見要項

日 時： 平成30年9月6日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

発表事項

1. 世界屈指の印刷エレクトロニクスで高齢者向けセンサ事業化プロジェクト採択
～文部科学省 平成30年度 地域イノベーション・エコシステム形成プログラム～
2. 山形大学「基盤力テスト」分析結果のご報告（第1回）
3. 算数・数学好きの子供たちを育成するために
～マジックを通して数学を楽しむプログラムの実践～
4. 本学学生が全日本大学軟式野球の日本代表に選出
～グアムでの国際親善試合へ投手として参加～

お知らせ

1. 平成31年度山形大学推薦入試学生募集要項及び社会人入試学生募集要項の公表について
2. 農場フェスティバルを開催します
～HAPPY SUNSHINE ミニケーション!!～
3. 「日本の国石・ひすい」を知る 講演会と特別展示
～日本鉱物科学会2018年年会の山形大学開催にあわせて開催～
4. 中小企業基盤整備機構と連携してEDGE-NEXT人材育成プログラム拡張講座を開催します
5. やまがた夜話の開催について

(参 考)

- 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：平成30年9月20日（木） 11：00～11：45

場 所：法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

学長定例記者会見（9月6日）発表者

1. 世界屈指の印刷エレクトロニクスで高齢者向けセンサ事業化プロジェクト採択 ～文部科学省 平成30年度 地域イノベーション・エコシステム形成プログラム～

有機エレクトロニクスイノベーションセンター長 たかはし たつひろ
高橋 辰宏

（地域イノベーション・エコシステム形成プログラム副事業プロデューサー）

学術研究院 教授（有機材料科学・電子デバイス） ときとう しずお
時任 静士

2. 山形大学「基盤カテスト」分析結果のご報告（第1回）

学術研究院准教授（基盤共通教育担当）

やすだ じゅんいちろう
安田 淳一郎

3. 算数・数学好きの子供たちを育成するために ～マジックを通して数学を楽しむプログラムの実践～

学術研究院教授（数学教育学）

おおさわ ひろのり
大澤 弘典

4. 本学学生が全日本大学軟式野球の日本代表に選出 ～グアムでの国際親善試合へ投手として参加～

山形大学軟式野球部（理学部2年）

さとう はると
佐藤 遥斗

平成30年（2018年）8月30日

～文部科学省 平成30年度 地域イノベーション・エコシステム形成プログラム～ 世界屈指の印刷エレクトロニクスで 高齢者向けセンサ事業化プロジェクト採択

【本件のポイント】

- 本学と山形県の共同申請プロジェクトが、平成30年度文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」に採択。
- 山形大学の強みのひとつである「フレキシブル印刷デバイス技術」を核として事業化を推進し、地方創生に貢献。
- 事業化プロジェクトに加え、次世代プロジェクト、人材育成にも取り組むことで中長期的に地域に貢献できるエコシステムを形成。



フレキシブル基板

【概要】

本学と山形県が共同で申請し、フレキシブル印刷エレクトロニクス研究の第一人者である時任静士教授（有機材料科学・電子デバイス）を中心研究者として推進する「**有機材料システムの『山形』が展開するフレキシブル印刷デバイス事業創成**」事業が文部科学省平成30年度「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」に採択されました。（申請件数27件のうち、本学プロジェクトを含む5件が採択）

山形県産業振興ビジョンにも掲げられ、山形大学が研究を推進してきた世界屈指の「フレキシブル印刷デバイス技術」を用いて、地域の戦略的パートナー企業と協働し、事業化を推進するものです。高齢者介護・高齢者作業現場での社会課題に対して、グローバル展開を見据えたソリューションサービスとして事業化を目指します。支援期間は2018～2022年度の5年間で、支援金額は1億円(初年度)の予定。

【地域イノベーション・エコシステム形成プログラムとは】

地域の成長に貢献しようとする地域大学に事業プロデュースチームを創設し、地域大学のコア技術等を核に、地域内外の人材や技術を取り込み、グローバル展開が可能な事業化計画を策定し、社会的インパクトが大きく地域の成長とともに国富の増大に資する事業化プロジェクトを推進するものです。事業化を通じて、日本型イノベーション・エコシステムの形成と地方創生を実現することを目的としています。

<参考> 文部科学省 http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/chiiki/program/1367366.htm

【背景】

2018年現在、後期高齢者が前期高齢者の数を超え「重高齢社会」（後期高齢者23%要介護 日本経済新聞2018年3月18日）への対応が急務となっている。あらゆる物や個人がIoT/AI、センサ等から成る情報通信のポータルサイトとなり、様々なリスクや社会サービス受容が容易にできるネットワークインフラが様々な分野で必要である。それを解決できる技術として、本プロジェクトでは固いシリコンデバイスとは異なる、柔らかくて（フレキシブル）違和感がないセンサデバイスを、プリント技術を用いて低コストに実現し、ネットワーク化したソリューション事業を「高齢者」むけに展開することを目指す。

高齢化率全国7位の山形県では、人員が少ない施設作業現場での高齢化介護(事業化プロジェクト1)及び高齢者作業現場(事業化プロジェクト2)から高いニーズがある。

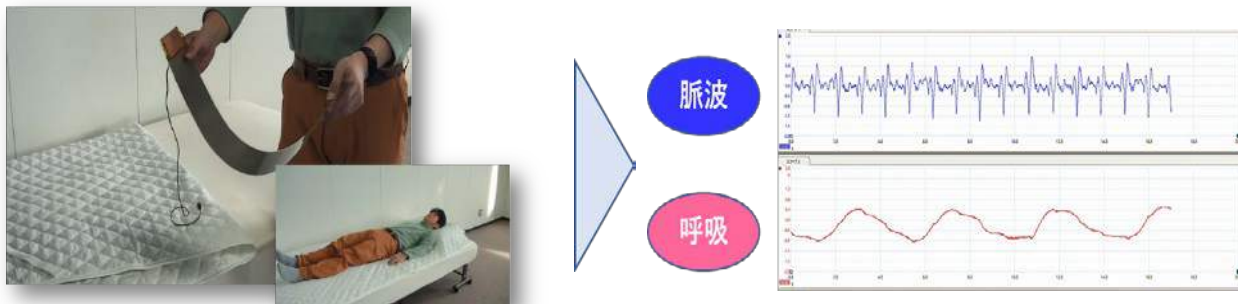
お問い合わせ 山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター事務室 内藤・土屋
電話 0238-29-0566 Mail kouinoel@jm.kj.yamagata-u.ac.jp


【事業概要】

事業化プロジェクト・基盤構築プロジェクトの概要

	名称	今までの実績	今後の展開
事業化プロジェクト	1 非拘束型の大面積シートセンサによる介護システム	世界初・低温プロセスでの製造を可能とする銀ナノ粒子合成、圧電高分子のシートの作製と実験室レベルの実証	プロトタイプ試作・量産技術・システム化を大学と戦略的地域連携企業で行う。
	2 パーソナルユース無線 FHE モニタリングシステム	シリコンと印刷エレクトロニクスによるフレキシブルハイブリッドデバイス (FHE) の作製と実験室レベルの実証	プロトタイプ試作・量産技術・システム化を大学と戦略的地域連携企業で行う。
基盤構築プロジェクト	次世代プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 「有機デバイスの信頼性を高める室温 ALD ナノ薄膜技術」 「印刷型補助電極付透明電極形成のプロセス技術」 「デバイスの耐久性を高めるナノ材料塗布プロセスによる有機無機界面設計技術」 	
	人材育成	事業化人材と次世代プロデューサーの人材育成を展開する	

大面積シートセンサ使用イメージ





有機材料システムの
「山形」が展開する
フレキシブル印刷デバイス
事業創成

山形大学・山形県
山形県産業技術振興機構
米沢市

地域イノベーションエコシステム構想

Society5.0の真の実現に向けたフレキシブル印刷デバイスシステムを目指して

“社会的インパクトある事業化”

自動車・ロボット・生産・環境・物流・農業・ **高齢・介護**

本事業
テーマ

国際研究拠点

「フレキシブル印刷エレクトロニクス」

時任静士 卓越研究教授



山形大学
事業プロデュースチーム
岩本隆
事業プロデューサー



地域及び
地域中核企業からのニーズ

「高齢化」

山形県
高齢化率
全国7位

団塊世代が後期高齢者へ
2025年問題

有機材料・ハード

大学発ベンチャー
フューチャーインク



有機材料
システム

情報・ソフト

主要な地域中核企業

地域創生の中核・エンジンとなる
第三期中期計画
山形大学



最先端技術による産業振興
産業振興プラン
山形県

山形県
産業技術振興機構
米沢市

拠点計画の全体像 有機材料システムの「山形」が展開するフレキシブル印刷デバイス事業創成

山形県産業振興ビジョンの下、山形大学が世界トップを目指す「選択と集中」の戦略で研究推進してきた世界屈指の「**フレキシブル印刷デバイス技術**」を用い、「事業プロデューサー」の下で、グローバルを見据えた**高齢者介護・高齢者作業現場での社会課題**に、**地域の戦略的パートナー企業と開発・試作・実証・システム化**まで行い、**ソリューション・サービスとして事業化**し、エコシステムを形成させる。

世界最先端技術

材料



世界最低温で導電性を発現できる銀ナノインク

印刷プロセス



大面積連続印刷技術

拠点





世界最高移動度で高速回路を実現できる塗布N型半導体

Si+印刷回路作製技術

**世界的研究開発拠点
有機エレクトロニクス研究センター**



中心研究者
時任 静士
卓越研究教授
2010年着任

**JST・START事業
ベンチャー企業
「フューチャーインク」創業**



ベンチャー創業

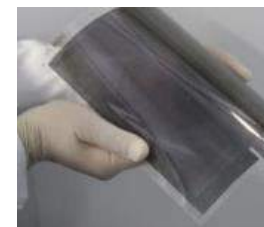
エコシステム形成

山形県産業振興ビジョン
世界先端技術を用いた事業化促進
グローバルを見据えた
社会課題・地域ニーズ

「高齢者」
介護（事業化プロジェクト1）
作業現場（事業化プロジェクト2）
印刷デバイス+情報
統合システムで事業化

事業化プロジェクト1
大面積デバイス
シートセンサ

事業化プロジェクト2
ハイブリッドデバイス
シリコン+印刷回路



フレキシブル印刷デバイスの事業創成 事業化プロジェクト

**戦略的事業化
パートナー地域中核企業**

固い
シリコン



東日本一の
シリコン産業
東北一位ものづくり
産業集積地

**事業プロデューサー
事業プロデュースチーム**

理念共有する
事業プロデュースチームを組織

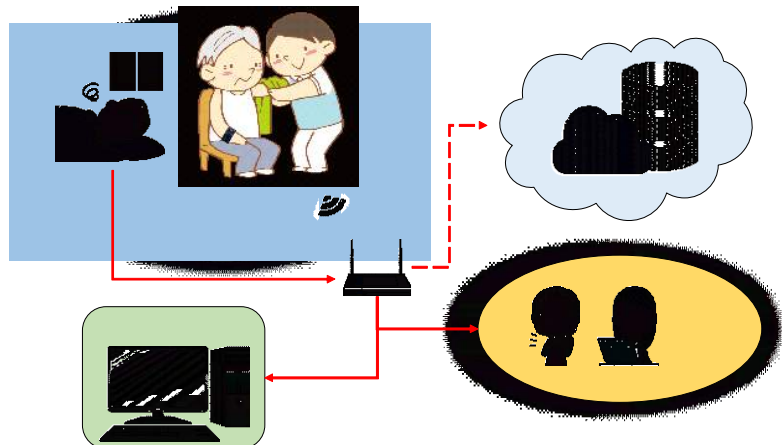
販路拡大支援 政策支援
山形県産業技術振興機構 山形県・米沢市

グローバル展開を見据えた地域の社会的・産業的ニーズ

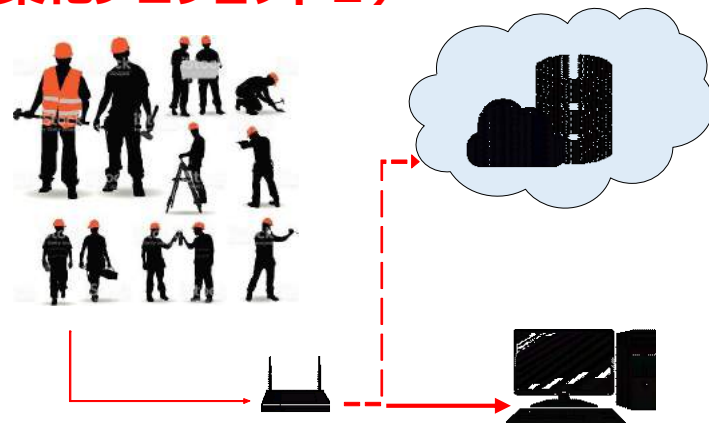
高齢化率全国7位の山形県では、人数が少ない施設作業現場での**高齢者介護（事業化プロジェクト1）** 及び**高齢者作業現場（事業化プロジェクト2）** から高いニーズがある。また、**シリコン産業の次世代への転換**が期待されている

山形地域の社会的ニーズ

1. 高齢介護施設の介護士からのニーズ （事業化プロジェクト1）



2. 高齢者作業現場からのニーズ （事業化プロジェクト2）



山形県
高齢化率
全国7位
平成29年

山形地域の産業的ニーズ

東日本一のシリコン産業集積地、東北一位のものづくり産業の次世代産業への転換
（事業化プロジェクト1,2 次世代プロジェクト1,2,3）



東北のシリコンバレー
山形米沢
シリコンエレクトロニクス
ものづくり産業集積地

付加価値額
（従業員1人当たり）
山形県849万円
全国平均より30%低い

情報通信・電子部品・デバイス産業
製造業の割合（平成25年）
29.3%
（全国平均 8.3%）

本事業の山形県産業振興ビジョンでの位置づけ

山形県産業振興ビジョンとして、「競争力あるものづくり産業群の形成」を第一に掲げ、「世界最先端技術を活かした事業化の促進」を行う。**地域イノベーションエコシステムは、山形県の産業振興の、最重要施策**に位置づけされている。

戦略1 やまがたの明日を切り拓く産業の振興

(1) 競争力のあるものづくり産業群の形成

産学官金
市町村
との連携

【施策の展開方向】

■世界最先端技術を活かした事業化の促進

- ・有機ELの市場拡大と国際標準化の促進
- ・合成クモ系繊維関連産業の集積促進

■企業間連携による成長期待分野への参入促進

〔自動車、航空機、ロボット、環境・エネルギー、医療・福祉・健康、食品・農業〕

■企業の製品化・事業化を支える工業技術センターの機能強化

- ・あらゆる分野との技術融合、共同研究や試作機能等の強化

■企業誘致の推進

- ・先端技術や成長期待分野及び本社機能等の立地促進

＜目標指標（H31の姿）＞

◎製造業付加価値額	1兆2,500億円（H25年：8,264億円）
◎工業技術センターによる製品化支援件数	50件（H25年度：28件）
◎企業立地件数	25件（H25年：22件）

引用 山形県産業振興ビジョン（平成27年～平成31年度）

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/shokokanko/110001/sangyovision/sangyovision.html>

コア技術群を基にした事業化プロジェクトの構成

コア技術群を基に、**高齢者介護システム（事業化プロジェクト1）** **高齢者作業現場のモニタリング（事業化プロジェクト2）**として、今まで、実験室レベルでの試作までで、**実用化にむけて実現できていなかった統合技術開発・実用化試作・デバイス量産化・システム化までの事業創成**を行う。

* **FHE** : フレキシブル (F) ハイブリッド (H) エレクトロニクス (E)
(シリコン技術と印刷で作製するエレクトロニクス技術のハイブリッドデバイス)

高齢者介護システム 事業化プロジェクト1

非拘束型の大面積シートセンサ
による介護システム

【要点】

山形大学は、材料・プロセス・デバイスから成るコア技術群を基に、有機材料でしか実現できない柔らかい大面積シートセンサの材料・製造技術を有している。介護支援ソフト・システムで国内トップシェアである地元企業と連携し、これまでにない価値を持つベットの面積シートセンサで高齢者介護支援システムを事業化する。

高齢者作業現場のモニタリング 事業化プロジェクト2

パーソナルユース無線FHE *
モニタリングシステム

【要点】

コア技術（材料：世界最高移動度塗布型N型半導体）プロセス：シリコンと印刷のハイブリッドデバイス技術を基にシリコンデバイスを製造・システム化している。地域中核企業と連携し、遠隔で高齢作業（工事・農業等）をモニタリングできる印刷デバイス（帽子内側へ装着）を製造し、サービスソリューション事業を展開する。

事業化プロジェクト1. 非拘束型の大面積シートセンサによる介護システム

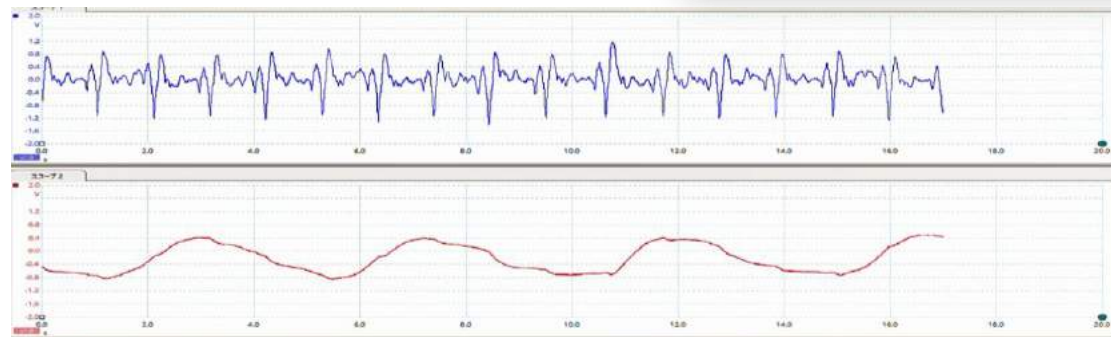
コア技術等

実験室レベルでの試作システム実証試験のビデオ



脈波

呼吸

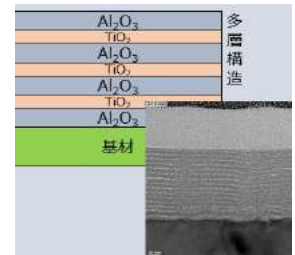


基盤構築プロジェクト 【次世代事業化プロジェクト】

本プログラムでは事業化プロジェクトに加え、**次世代の事業化プロジェクト**となり得る**3分野をシーズとして育てる**ことにより、**中長期的に地域に貢献できるエコシステムの形成**も行っていく。

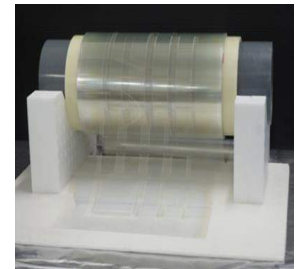
次世代プロジェクト① 有機デバイスの信頼性を高める室温ALDナノ薄膜技術

室温で無機酸化物薄膜を厚さ50nm程度で低コスト・大量形成できる**世界初のコア技術**をもとに、室温で熱によわいプラスチックフィルムの**ガスバリア性を向上**できる。有機デバイスの信頼性向上に展開していきます。**JST・START事業に採択**されて展開している。



次世代プロジェクト② 印刷型補助電極付透明電極形成のプロセス技術

印刷型補助電極形成技術の**コア技術**を基に、**世界初のRoll-to-Roll**で**印刷型補助電極形成プロセス**を開発する。ドイツ・ブラウンフォーア-FEPとの国際連携も活用し、印刷・成膜・材料・装置・基板・製品評価を融合させた革新的トータル技術開発を行う。



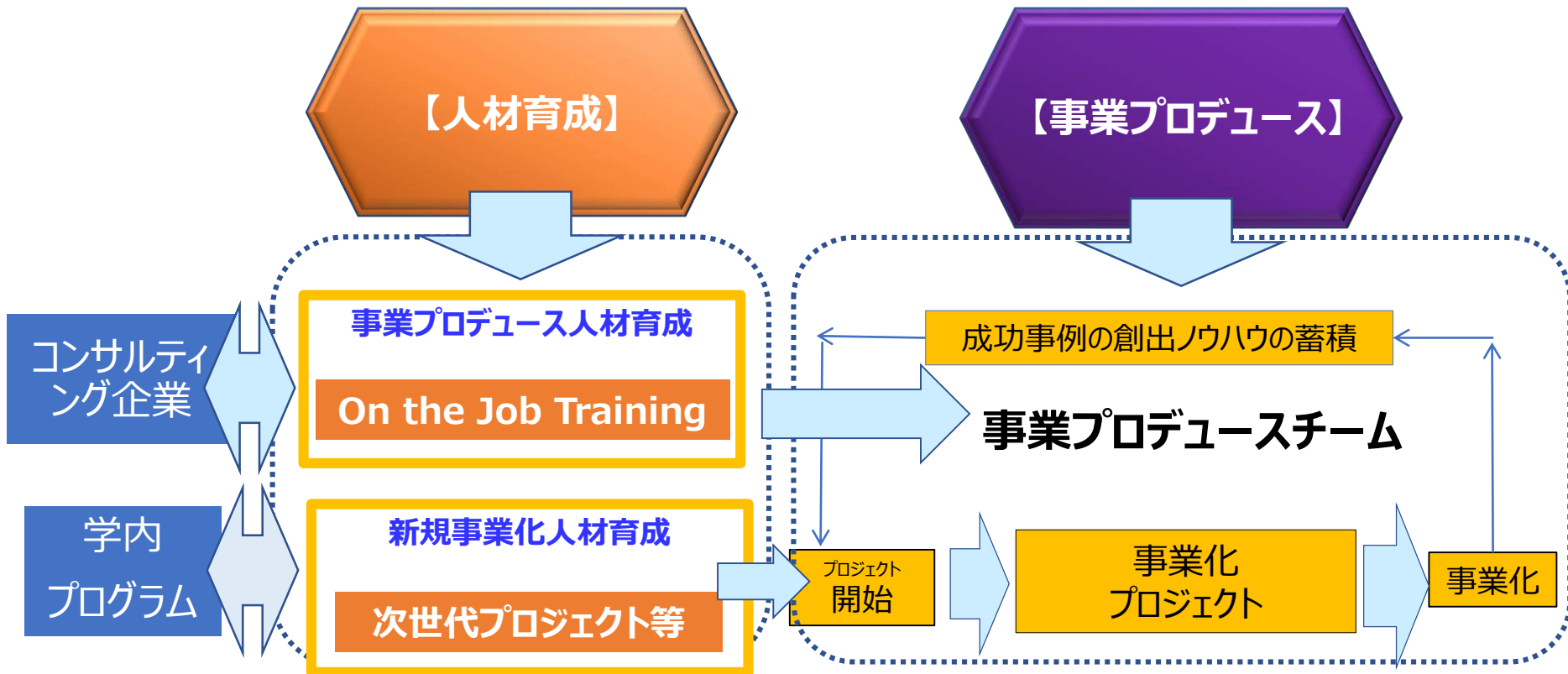
次世代プロジェクト③ デバイスの耐久性を高めるナノ材料塗布プロセスによる機無機界面設計技術

塗布プロセスで特殊なナノ材料をコーティングすることで**界面接着性を劇的に向上**させる**世界初のコア技術**を用いて、**複合デバイスの耐久性や品質を高める**ことを目的とした研究開発を行う。



基盤構築プロジェクト 【人材育成】

事業プロデュース・コーディネートできる人材を連携組織と共に育成し地域の活性化を目指す。学内の人材育成プログラム(MOT等)との連携に加え、地域の金融機関、公募にて選定するコンサルティング企業とも緊密に連携し、学内外からの幅広い知見を活かし集中的に人材育成へ取り組むことで地域内で人材を育成する。



平成30年（2018年）9月6日

山形大学「基盤力テスト」分析結果のご報告（第1回）

【本件のポイント】

- 平成29年度入学生について、1年次および2年次の基盤力テストの結果を比較分析し、速報値としてまとめた
- 分析の結果、一部のカリキュラムの学生については平均能力値が有意に向上、あるいは低下したことが明らかになった
- 能力値の推移は、いずれも本学のカリキュラムの目的や体系と整合しており、今後、本学の教育効果を検証するための基礎データとして活用できる



【概要】

山形大学では、基盤力テストを平成29年度より毎年4月に実施し、学生の学習達成度を可視化することを試みています。このたび、平成29年度入学生について、1年次および2年次の実施結果の比較分析を行い、1年間の能力値の推移を速報値としてまとめました。分析の結果、化学を専門とする一部のカリキュラムの学生については化学の平均能力値が有意に向上した一方、数学を専門としない一部のカリキュラムの学生については数学の平均能力値が有意に低下したことが明らかになりました。能力値の推移は、いずれも本学のカリキュラムの目的や体系と整合しており、今後、本学の教育効果を検証するための基礎データとして活用していきます。

【背景・目的】

これまで学習者の人間力などを評価する方法は、学生の主観によるアンケートなど間接的な評価方法が中心であり、直接的な方法はあまり見られませんでした。間接的な評価方法では、いま国内外で強く要請されている教育の質保証に十分対応できないという問題があります。そこで山形大学では、直接的な方法による全学共通テスト「基盤力テスト」を独自に開発し、平成29年度より毎年4月に実施しています。これにより、本学の学生の学習達成度を直接測定することで、学士課程教育の効果の可視化に取り組んでいます。

【分析結果の一例（速報値）】

化学	平均能力値（1年次）	平均能力値（2年次）	平均能力値の差
化学が専門であるカリキュラム A	-0.22	0.50	0.72
数学	平均能力値（1年次）	平均能力値（2年次）	平均能力値の差
数学が専門でないカリキュラム B	0.48	0.06	-0.42

上表において、化学を専門とするカリキュラム A の学生については、1年次の化学の平均能力値が -0.22、2年次の化学の平均能力値が 0.50 となり、1年間で平均能力値が 0.72 向上したことがわかりました。一方、数学を専門としないカリキュラム B の学生については、1年次の数学の平均能力値が 0.48、2年次の数学の平均能力値が 0.06 となり、1年間で平均能力値が 0.42 低下したことがわかりました。能力値の推移は、いずれも本学のカリキュラムの目的や体系と整合しており、基盤力テストの妥当性が裏付けられたと言えます。今後は、学生の能力値の変化と履修歴および学習習慣の関係などを分析し、学士課程教育の改善を検討するための基礎データとして活用していきます。

お問い合わせ 学術研究院准教授（基盤共通教育） 安田 淳一郎
TEL 023-628-4063 メール ysdjun16★kdw.kj.yamagata-u.ac.jp

（メールアドレスの★は@に置き換えてください）

平成30年（2018年）9月6日

算数・数学好きの子供たちを育成するために ～マジックを通して数学を楽しむプログラムの実践～

【本件のポイント】

- 大澤弘典教授（数学教育学）が日本学術振興会の平成30年度ひらめき☆ときめきサイエンス推進賞を受賞しました。
- 受賞は、算数・数学好きの子供たちを育成するプログラム「算数・数学マジックを楽しもう！」が6年連続採択された功績によるものです。
- 大澤教授は、算数・数学の新教材の提案も行っています。



【概要】

大澤弘典教授（数学教育学）は、数学的モデリング（現実世界における問題の数学的解決）に係わる研究を行っています。その取り組みの一環として、独立法人日本学術振興会の「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～」*という社会還元・普及事業の中で、プログラム「算数・数学マジックを楽しもう！」を実施しています。この事業に6年連続で採択され、このたび大澤弘典教授には「平成30年度ひらめき☆ときめきサイエンス推進賞」が授与されました。このプログラムで子供たちは身近な算数・数学マジックに取り組みながら、その仕組みやカラクリを数学的に解き明かし、さらに子供たち自身で算数・数学マジックづくりにもチャレンジします。算数・数学好きの子供たちを育てるプログラムとして多くの方々から好評を得ています。なお、本年度の開催は10月21日（応募締切日10月10日）の予定です。

【プログラム実施の背景など】

全国的な学力調査や国際的な学力調査などから窺えるように、日本の子供たちの算数・数学を現実問題に活用する能力は十分に育っているとは必ずしも言えない状況です。加えて、数学嫌いの子供たちの割合が多く、数学を役に立たないと捉える傾向が少なからず見られます。これらは数学教育上の大きな課題となっており、子供たちが算数・数学を活用し数学の有用性を感じ得るカリキュラムやプログラムの開発が求められています。本プログラムはその一つの試みであり、算数・数学マジックに内在する数学的活動を通して、目に見えないものを観ぬいたり、異なるものを同じとみなしたりといった数学的構造を捉える楽しさを子供たちに体験してほしいと願っています。

【算数・数学マジックを楽しもう！～「なぜ？」&「なるほど！」の世界2018～】

開催日時：平成30年10月21日（日）10：00～15：10

開催会場：山形大学基盤教育1号館

対象：小学校5年生～6年生、20名

担当代表：大澤弘典（山形大学学術研究院教授（大学院教育実践研究科担当））

※参考 日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～」ホームページ
<http://www.jsps.go.jp/hirameki/index.html>

お問い合わせ 学術研究院 教授（数学教育学） 大澤 弘典（おおさわ ひろのり）
TEL 023-628-4415 メール hiro@e.yamagata-u.ac.jp

2018年9月6日

算数・数学好きの子供たちを育成するために ～マジックを通して数学を楽しむプログラムの実践～

大 澤 弘 典

山形大学学術研究院
(大学院教育実践研究科担当)

hiro@e.yamagata-u.ac.jp



1. プログラムの概要

算数・数学マジックを楽しもう！

～「なぜ？」&「なるほど！」の世界2018～

対象：小学校5年生～6年生、20名

目的：算数・数学の活用力育成，有用性の感得

日時：平成30年10月21日(日)10:00～15:10

会場：山形大学基盤教育1号館

【タイムテーブル】

9:30-10:00	受付
10:00-10:15	開講式(あいさつ, 科研費の説明など)
10:15-11:00	プログラム①:「 数 」にかかわるマジック
11:00-11:15	クッキータイム
11:15-12:00	プログラム②:「 形 」にかかわるマジック(その1)
12:00-12:45	昼食
12:45-13:30	プログラム③:「 形 」にかかわるマジック(その2)
13:30-13:45	クッキータイム
13:45-14:30	プログラム④:「 動き 」にかかわるマジック
14:30-15:00	修了式(未来博士号授与, アンケート記入など)
15:10	終了・解散



～ようこそ大学の研究室へ～

K A K E N H I



JSPS 日本学術振興会
JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE

2. プログラム実施の背景

【社会状況】

加速度的に変化する今日の社会をどう生き抜くか

⇒ **CUN問題への対応力の育成**

※) CUN (Complex, Unfamiliar and Non-routine) 問題:
複雑で見慣れない非定型的問題

【数学教育上の課題】

- ・算数・数学を現実問題に活用する能力
- ・算数・数学の有用性の感得

(全国学力・学習状況調査, 国際的な学力調査: PISA, TIMSS他)

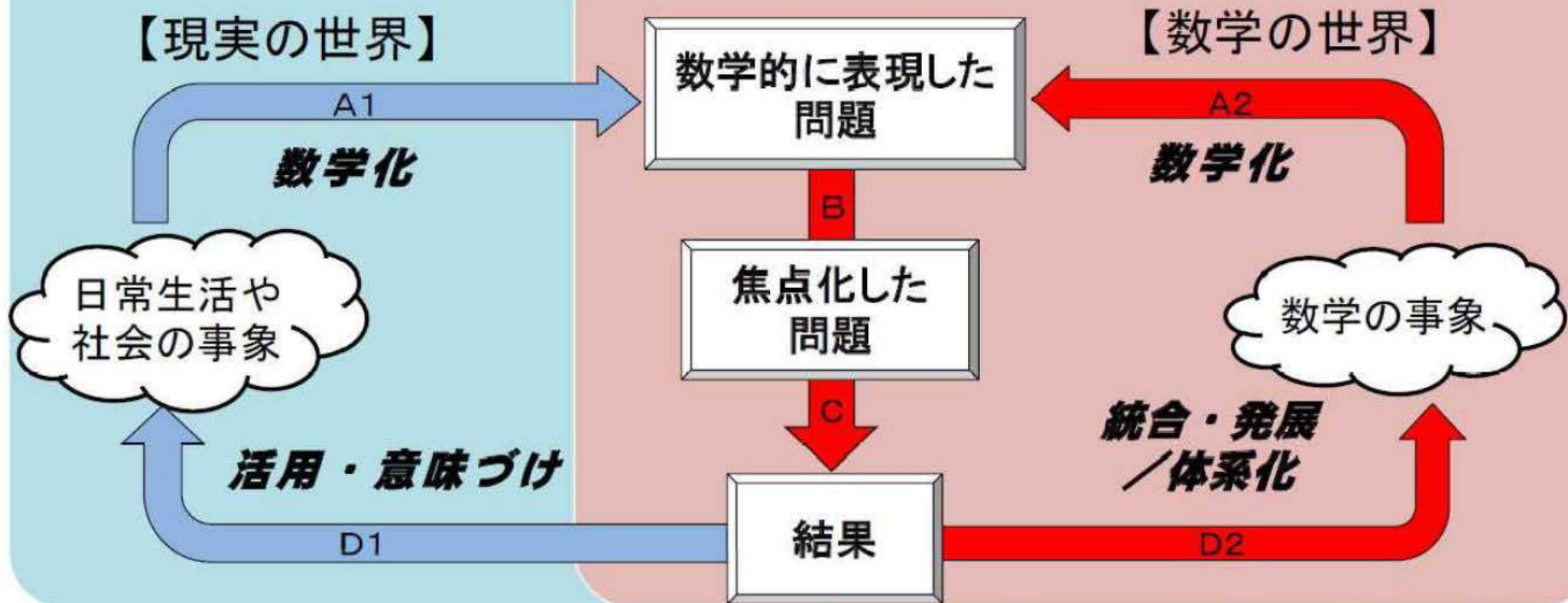
【算数・数学マジックでの数学的活動を通して】

- ・目に見えないものを観とる
- ・異なるものを同じとみなす...

⇒ **数学的構造を捉える楽しさの体験**
(数学の本質に迫る深い学び)

算数・数学の学習過程のイメージ

算数・数学の問題発見・解決の過程



日常生活や社会の事象を数理的に捉え、
数学的に処理し、問題を解決することができる。

数学の事象について統合的・発展的に考え、
問題を解決することができる。

事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決することができる。

平成30年（2018年）9月6日

本学学生が全日本大学軟式野球の日本代表に選出 ～グアムでの国際親善試合へ投手として参加～

【本件のポイント】

- 軟式野球部の佐藤遙斗さんが全日本大学軟式野球国際親善大会の選手団の一員に投手として選ばれました。
- 山形大学から軟式野球で日本代表に選ばれるのは初めてです。
- 佐藤さんは、12月3日(月)から10日(月)までグアムに派遣され、親善大会に参加するとともに、現地の日本人学校で野球教室なども行います。



【概要】

山形大学の佐藤遙斗（さとうはると・理学部2年）さんが、全日本大学軟式野球国際親善試合大会の選手団の一員として、グアムに派遣されることが決定しました。佐藤さんは、書類審査を経て、6月9日(土)、10日(日)の2日間にわたり東北福祉大学で開催された代表選考会に参加し、投手として派遣団の一員に選ばれました。一行は、12月3日(月)から10日(月)まで、第21回全日本大学軟式野球国際親善大会（GUAM）参加メンバーとして、グアムに派遣されます。期間中、親善大会に参加するとともに、現地の日本人学校で野球教室なども行う予定です。

小学生のころから地元のクラブチームで軟式野球をしていた佐藤さん（岩手県奥州市出身）が、投手としてプレーを始めたのは中学生のとき。以来、高校（岩手県立水沢高校）で所属した硬式野球部でも投手として活躍しました。山形大学では、軟式野球部に所属し、昨年秋の東日本大学軟式野球選手権大会では、当時1年生ながら、先発投手の一角としてチームを支え、初出場で3位の好成績に貢献しました。

【山形大学軟式野球部】

選手、マネージャー合わせて約30名で活動しています。指導の先生やコーチがいないため、練習メニューづくりから、練習試合の相手探し、遠征や合宿の手配まですべて学生達自身で行っています。2016年に名称をサークルから部に変更し、勝ちにこだわるチームづくりで、力をつけてきました。2017年9月には第38回東日本大学軟式野球選手権東北大会で初優勝。その後、同年11月に行われた東日本選手権本選では初出場で3位という成績を納めました。佐藤さんは当時1年生ながら先発投手の一角としてチームの勝利に貢献しました。

【第21回全日本大学軟式野球国際親善大会（GUAM）】

主催：全日本大学軟式野球連盟
会期：平成30年12月3日(月)から12月10日(月)
試合・練習地：グアム レオパレスリゾート（予定）
参加者：24名（うち1名は主務(スタッフ)として参加）

<参考>全日本大学軟式野球連盟 Web サイト <https://junbf.jp/>

お問い合わせ
山形大学広報室
TEL 023-628-4008 メール koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成30年9月6日
山形大学

* 詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 平成31年度山形大学推薦入試学生募集要項及び社会人入試学生募集要項の公表について

山形大学各学部で実施する「推薦入試」及び人文社会科学部、地域教育文化学部、工学部の3学部で実施する「社会人入試」の学生募集要項を公表します。

2. 農場フェスティバルを開催します

～HAPPY SUNSHINE 米ニケーション!!～

地域の皆さまに山形大学の農場にもっと親しんでいただくために実施している農場フェスティバルを今年度も実施します。農場で生産した新米の炊きたてご飯を無料で振る舞います。

日時：平成30年9月29日（土）10：00～15：30

場所：山形大学農学部 附属農場（鶴岡市高坂字古町5-3）

入場無料・ご飯無料

3. 「日本の国石・ひすい」を知る 講演会と特別展示

～日本鉱物科学会2018年年会の山形大学開催にあわせて開催～

山形大学での学会開催にあわせて、ひすい研究の第一人者の講演や、附属博物館でのひすいの特別展示などが企画されています。

■一般講演 日時：9月22日（土）13：00～（要申込）

■特別展示 日時：9月11日（火）～21日（金）

4. 中小企業基盤整備機構と連携して EDGE-NEXT 人材育成プログラム拡張講座を開催します

日程：9月26日（水）～9月28日（金）

場所：小白川キャンパスC4（人文社会科学部3号館）8階

受講料：28,000円

定員：30名

5. やまがた夜話の開催について

大学コンソーシアムやまがたでは、それぞれの得意分野で活躍している第一人者の方からお話ししていただく「やまがた夜話」を開催しています。

10月は「秋の夜長 科学の話あれこれ」をテーマに山形大学理学部担当の教員4名が最新の研究についてお話しします。

[※裏面に続く](#)

※これまでの定例会見でお知らせしたもので、開催が迫っているイベント

◎地域指向性プロジェクト「耳で読む太宰」（高校生朗読コンクール／群読劇）

日 時：9月9日（日）13：30～17：00

場 所：山形市中央公民館ホール

◎人文社会科学部公開講座

「新聞記事で読み解く法律問題－法律って意外と面白いかも」

日 時：9月18日（火）、9月25日（火）、10月2日（火）、10月9日（火）、
10月16日（火）の計5回、各回18：30～20：10

場 所：人文社会科学部1号館2階205教室

◎東北6県の大学・短大によるシンポジウム

「東北地方にある大学短大の魅力的な教育の取組」

日 時：9月22日（土）13：30～16：30

場 所：山形大学小白川キャンパスA3（基盤教育3号館312教室）

平成30年（2018年）9月6日

平成31年度山形大学推薦入試学生募集要項 及び社会人入試学生募集要項の公表について

【本件のポイント】

- 山形大学各学部で実施する「推薦入試」及び人文社会科学部、地域教育文化学部、工学部の3学部で実施する「社会人入試」の学生募集要項を公表します。
- 9月6日（木）に山形大学ホームページで公表するとともに、「推薦入試学生募集要項」は冊子の配付を開始します。冊子は山形大学ホームページから請求いただくか、山形大学小白川キャンパス内のインフォメーションセンターあるいは各学部入試担当窓口でも配付します。「社会人入試学生募集要項」は、山形大学ホームページからダウンロードしてください。窓口での配付は、社会人入試を実施する3学部のみで行います。
- 「推薦入試学生募集要項」は、9月6日（木）付けで、山形県内高等学校等に発送する予定です。



【概要】

山形大学は、9月6日(木)に「推薦入試学生募集要項」「社会人入試学生募集要項」を公表します。

これらの要項は、9月6日から山形大学ホームページでご覧いただくことが可能です。

「推薦入試学生募集要項」の冊子は、山形大学ホームページ（パソコン、スマートフォン、携帯電話等）から請求してください。また、山形大学小白川キャンパス内のインフォメーションセンターあるいは各学部入試担当窓口でも配付します。県内高校等には、9月6日付けで発送することとしています。

「社会人入試学生募集要項」は冊子体を作成していないため、山形大学ホームページ「入試案内」「入学者選抜要項・学生募集要項」の「平成31年度社会人入試学生募集要項」から直接ダウンロードしてください。ダウンロードできない場合は、実施する3学部の入試担当窓口で配付します。

【昨年度入試からの主な変更点】

《推薦入試》

人文社会科学部

- ・大学入試センター試験を課す推薦入試Ⅱ（募集人員：23人）を新たに実施します。
- ・大学入試センター試験を課さない推薦入試Ⅰの募集人員を次のとおり変更しました。
48人（昨年度70人〔22人減〕）

地域教育文化学部

- ・児童教育コースの大学入試センター試験を課さない推薦入試Ⅰの募集人員を次のとおり変更しました。
20人（昨年度12人〔8人増〕）

理学部

- ・大学入試センター試験を課さない推薦入試Ⅰにおいて「数学分野」「物理学分野」受験に加え、「化学分野」「生物学分野」「地球科学分野」受験を新設し、募集人員を次のとおり変更しました。
15人（昨年度12人〔3人増〕）
- ・大学入試センター試験を課す推薦入試Ⅱ（昨年度募集人員：32人）を取り止めました。

お問い合わせ先

山形大学エンロールメント・マネジメント部入試課
TEL 023-628-4141

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【入試実施教科・科目等について】

実施教科・科目等については、「平成31年度山形大学入学者選抜要項」で公表している内容から変更ありません。

【選抜日程について】

推薦入試Ⅰ (大学入試センター試験を課さない推薦入試)	出願期間	人文社会科学部 地域教育文化学部	平成30年11月 1日(木)～11月 5日(月)
	選抜期日	理学部 工学部昼間コース	平成30年11月14日(水)～11月20日(火) の間に実施
	合格発表	工学部フレックスクラス 農学部	平成30年12月 3日(月)
推薦入試Ⅱ (大学入試センター試験を課す推薦入試)	出願期間	人文社会科学部	平成31年 1月21日(月)～ 1月24日(木)
		医学部医学科	平成30年11月 1日(木)～11月 5日(月)
		医学部看護学科	平成31年 1月21日(月)～ 1月24日(木)
	選抜期日	人文社会科学部	平成31年 2月 2日(土) (グローバル・スタディーズコースは除く)
		医学部医学科	平成30年11月21日(水)
		医学部看護学科	平成31年 2月 2日(土)
合格発表		平成31年 2月12日(火)	
社会人入試	出願期間	人文社会科学部 (総合法律/地域公共政策/経済・マネジメントコース)	平成30年10月15日(月)～10月17日(水)
		地域教育文化学部	平成30年11月 1日(木)～11月 5日(月)
		工学部フレックスクラス	平成30年10月16日(火)～10月18日(木)
	選抜期日	人文社会科学部 (総合法律/地域公共政策/経済・マネジメントコース)	平成30年11月 3日(土)
		地域教育文化学部	平成30年11月14日(水)
		工学部フレックスクラス	平成30年11月17日(土)
合格発表		平成30年12月 3日(月)	

お問合せ先
山形大学エンロールメント・マネジメント部入試課
TEL 023-628-4141

平成30年（2018年）9月6日

山形大学農場フェスティバルを開催します ～HAPPY SUNSHINE ミニケーション!!～

【本件のポイント】

- 農場で生産した新米ご飯を炊きたてで無料提供します。また、カレーや芋煮、天ぷらなどご飯のお供を販売します。
- 子供たちに人気の農機ショーやツリーイング、子山羊もお迎えします。音楽・パフォーマンスステージも様々企画しています。
- 2012年から毎年実施しており、今年で7回目。



【概要】

山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター（高坂農場、演習林）では、環境保全型農林業の実践教育や、自然と人間との関係を結ぶ体験学習の場を提供するとともに、水稻、野菜、畜産に関する諸問題や積雪環境と森林生態系の相互利用や利雪・親雪に関する研究を行っています。そのような農場・演習林を、地域の方をはじめ、多くの皆さんにもっと親しんでいただくために、農場・演習林の教職員が、学生や地域の方々と一緒に作り上げるイベント「農場フェスティバル」を今年も開催します。年に一度、新米の収穫時期に合わせて実施しており、今年で7回目です。農場で遊んだり、動物とふれあったり、音楽を楽しんだりしながら、炊きたてのおいしいご飯をお楽しみいただけます。

【山形大学農場フェスティバル～HAPPY SUNSHINE ミニケーション!!～】

「山大の農場とか演習林はどんなところ？」とよく聞かれます。

農場ではおいしいお米やトマト、ブルーベリー、えだまめ、リンゴなど多くの農産物のほか、牛やヤギ、演習林は広大な森林や川があります。本学部では、この自然豊かなフィールドを存分に使い講義、実習、実験を通して、その成果を世界中に発信しています。

今年のテーマは、「HAPPY SUNSHINE ミニケーション!!」です。キラキラ輝く太陽と青空の下、学生や教職員をはじめ地域の皆さんら来場者が、ご飯いっぱいのだんぷりを片手に楽しくコミュニケーションしようという思いが込められています。当日は、当農場で収穫した炊き立ての新米（はえぬき&ミルクークイーン）を来場者の皆様に無料で振る舞います。お子様から大人まで楽しめる企画をご用意していますので、ぜひ多くの皆様のご来場をお待ちしております。

◆日時：平成30年9月29日（土）10:00～15:30

◆場所：山形大学農学部 附属農場（鶴岡市高坂字古町5-3）

◆入場無料・ご飯無料

- ◆主な内容：【たべる】農場生産物（リンゴ、栗、里）、ご飯のお供、加工品の販売 など
- 【あそぶ】農業機械の展示、ヤギふれあいコーナー、ツリーイング、森の学校、楽器体験など
- 【おんがく】アマチュアバンド、農学部吹奏楽団による音楽ステージなど
- 【まなぶ】特別講演会

お問い合わせ

山形大学農学部事務室附属施設担当（附属やまがたフィールド科学センター）

TEL:0235-24-2278

Mail:nogyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp（附属施設担当）

山形大学農場 フェスティバル



あそぶ

- ・農機展示！
- ・農場のヤギがやってくる！メエ！メエ！メヘヘ！
- ・荷台に揺られて♪農場見学ツアー！
- ・演習林ブースで薪割り体験！
- ・スタンブラリーで栗のつかみ取り！
- ・薪ボイラーで足湯☺農場（板垣水道）
- ・出張！森の学校！！
- ・レッツ ツリーイング！！
- ・脱穀したてのご飯を食べよう！
- ・伝説のお米「亀の尾」を食べよう！！
- ・今年もゆるキャラ集合！樹氷一家参戦決定！
- ・じゅっきーくん&たいきくん&むひよこちゃん&こいささん
- ・国さがしゲーム
- ・庄内から世界へ羽ばたく青年海外協力隊！
- ・いろんな楽器を触ってみよう！ 吹奏楽器編
- ・いろんな楽器を触ってみよう！ 軽音楽器編
- ・ナリワイブース〜稲穂リース販売&縄編みWS〜
- ・次世代農機がやってきた！
- ・ドローン、遠隔操作型四輪ロボット、AI物体認識装置
- and more...

おんがく

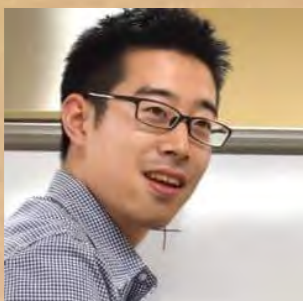
- ・ケチヨンケチヨンジャグバンド（山形）
- ・農学部吹奏楽団
- ・Kickin' Dance Fam
- ・花笠踊り（四面楚歌）
- ・重音バンド1（仮）
- ・重音バンド2（仮）
- ・のど自慢リターンズ
- ・農場フェスティバルズ
- and more...
- ・三浦大輝 with aji
- ・うたこえサークルとまり火
- ・特大農機 Show!
- ・Sage Artist
- 工房げるごとと愉快な仲間たち

たべる

- 新米炊き立てご飯無料！
はえぬぎ&ミルククイーン！
- ご飯のお供、農産物、加工品販売！！
- ・てんぷら（やさいろ）・焼肉、山形牛カレー、牛すじ、からあげ、あらびきフランク、カツサンド（ミートデリカ・クドー）
- ・ふりかけ、七味、ハーブソルト調査体験 販売（黒川まるいし農場）
- ・炭火焼ベーコン串&ウインナー、豆腐、味噌
- （食糧自給圏「スマートテロワール」形成講座）
- ・おしゃべりな畑
- ・揚げピザ、じゃがいも素揚げ（叶野農場）
- ・ベーコン、フランクフルト、ウインナー（イウ）
- ・エネルギーバー【庄内スペシャル】(Iblue)
- ・ぶどう、なし（蛸井農場）
- ・きくらげ（鈴木屋本店）
- ・外内島キュウリ（鶴岡自然薯研究会）
- ・鮭川産なめこ（くまちゃんなめこ）
- ・農産加工品販売（庄内アグリユース）
- ・新米、りんご、くり、さといも（山大農場）
- and more...

まなぶ

- ・食糧自給圏「スマートテロワール」と庄内の地域食糧自給率
- ・高田宏樹先生
- ・農林水産省辞めちゃいました！
- ・高田宏樹先生



HAPPY SUNSHINE 米ニケーション！！

2018 9.29 SAT 10:00-15:30 DOORS OPEN 9:30

開催場所：山形大学農学部高坂農場

入場無料
ご飯無料

フェスタ
国立大学2018

農場フェスティバルJAM 15:45-19:15 お腹いっぱいのは音楽（JAM）のデザート

松本健一（サククス）/クラウド（山形）/Nerukoz（鶴岡）/農場フェスティバルズ/重音バンド3/THE GAIN（鶴岡）/Vital Club

主催：山形大学農学部重音学部、庄内キャンドルナイトの会 連絡先：0235-28-2880



平成30年（2018年）9月6日

「日本の国石・ひすい」を知る 講演会と特別展示 ～日本鉱物科学会2018年年会の山形大学開催にあわせて開催～

【本件のポイント】

- 山形大学で開催される日本鉱物科学会2018年年会（9/19-21）にあわせて、第一線で活躍している研究者による「日本の国石・ひすい」に関する講演会を開催します。
- 学会として「日本の国石・ひすい」に関する一般向けの講演会を開催するのは今回が初めてです。
- 附属博物館では、フォッサマグナミュージアムより貸し出されるひすいの特別展示を行います。（9/11-9/21）



【概要】

「日本の国石・ひすい」の講演会と特別展示が山形市で開催されます。日本の国石とは、日本鉱物科学会が社団法人化の記念事業の一環として、日本を代表する石として「ひすい（ひすい輝石およびひすい輝石岩）」を選定したものです。今回、日本鉱物科学会 2018 年年会を山形大学で開催するにあたり、「国石ひすい」に関する講演と展示を行うことになりました。学会として「日本の国石・ひすい」に関する一般向けの講演会を開催するのは今回が初めてとなります。9月22日（土）午後1時から、山形駅前にあるゆうキャンパス・ステーションで講演会を開催します。

ひすいの特別展示は、山形大学附属博物館で、9月11日（火）から21日（金）まで開催します。新潟県糸魚川市のフォッサマグナミュージアムより貸し出される大型のひすい、緑、紫、青、白、黒のひすいを展示します。

【一般講演について】

日時 9月22日（土）午後1時～午後3時30分

場所 ゆうキャンパス・ステーション（山形市香澄町1-3-15山形むらさきさわビル1F）

定員 50名（先着順）

内容 最新のひすいの成因論を含め、専門家の講師によりわかりやすい講演をして頂きます。

・国石ひすいの基礎知識

ひすいは何からできている、硬玉と軟玉、ひすいの色とその原因、多結晶の宝石、「かたい」けれど「かたくない」宝石、ひすいの中の新鉱物、ひすいの見つけ方など

・国石ひすいのサイエンス

ひすいはどこにある、プレートテクトニクスの宝石、古典的ひすいの成因論と最新のひすい成因論、熱水からできたひすい、交代作用で出来たひすい、ひすいの年齢、ひすいと地球史など

・国石ひすいと日本人

人類とひすいとの出会い、縄文時代のひすい利用（世界最古のひすい利用）、ひすいの玉（形態と意味）大正時代・昭和時代のひすい発見、山形とひすいとの深い関係など

参加方法 参加は無料ですが、メールでの事前申込が必要です。

お申し込み先メールアドレス JAMS2018yamagata@gmail.com（受付はメールのみ）

お問い合わせ

学術研究院 准教授（理学部主担当） 加々島 慎一

（日本鉱物科学会 2018 年 LOC 一般普及講演・特別展示担当）

TEL 023-628-4650 メール kagashima@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

【附属博物館特別展示について】

展示期間：9月11日（火）～9月21日（金）

通常附属博物館は平日開館（9:30～17:00）となっていますが、開催期間中の9月17日（祝日）は、特別に開館を予定していますので、多くの方のご来場をお待ちしております。

<参考> 山形大学附属博物館ホームページ <http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/museum/>

内容：45×28×10cm（約20kg）の大型のひすい（切断研磨試料）を展示スペースの中心にすえ、様々な色のひすいを展示します。すべて糸魚川産のものです。ひすいの科学（どのような場所のできるのか）、山形とひすいの関係などの説明ポスターを掲示します。



【背景】

2016年、日本鉱物科学会は社団法人化の記念事業の一環として、日本を代表する石（国石）を選定しました。国石を選定するにあたり、必須条件として、①知名度・美しさ（日本で広く知られている国産の美しい石であること）、②学術的重要性（鉱物科学や地球科学の分野はもちろん、他の分野でも世界的な重要性を持つこと）、さらに望ましい条件として、①日本人との関わり（長い時間、広い範囲で日本人の生活に関わり、利用されていること）、②継続性（その石の産出が現在まで継続し、野外で見学できること）、③持続性（野外での見学が、法律による保護などによって持続可能であること）、以上の条件に照らし24の候補が選ばれ、国石選定ワーキンググループの協議と投票によって、花崗岩・輝安鉱・自然金・水晶・ひすいの5種に絞られました。2016年年会（金沢大学）において、日本鉱物科学会会員による投票により、日本の国石として「ひすい（ひすい輝石およびひすい輝石岩）」が選定されました。

【ひすいの科学（抜粋）】

ひすい（翡翠）とは、ひすい輝石という鉱物からできており、無数の細粒の輝石の結晶が集合して岩石を形作っています。純粋なひすいは無色透明で、岩石としては白いものです。一般にひすいとして知られる緑色の部分は、オンファス輝石という同じ輝石の仲間が含まれていること、鉄とクロムが存在し、両者の効果によって緑色になっていることが分かってきました。同様に、薄紫色ひすい（ラベンダーひすい）には、チタン、鉄、マンガンが、青色ひすいには鉄とチタンが、黒色ひすいには微細な石墨が含まれています。

ひすいは、日本列島のようなプレート収束域（沈み込み帯）で、特に低温高圧変成作用が起こる場でのみ形成されると考えられており、また約5.5億年前よりも若い時代の蛇紋岩分布地域に限られていることは、地球が徐々に冷却してきて、古く冷たい海洋プレートが沈み込むようになったのが5億年前くらいからと考えられます。

【ひすいと山形との深い関係（抜粋）】

講演会の中で、また博物館においてもポスターで紹介をする予定ですが、ひすいと山形には深い関係があります。講師の宮島宏氏より下記情報をいただきましたので、添付します。

●山形と翡翠の関係（敬称略）

■小倉 勉（1888-1983）

山形大学初代学長 仙台市出身 東大地質卒

五大蓮池火山などを研究した岩石学者

旅順工科大学教授だった1939年、島田貞彦（旅順博物館館長、京大卒、考古学者）に、同年、岩石礦物礦床学に掲載された河野義礼らの日本初産の翡翠についての論文の存在を紹介。

島田は考古学雑誌にそのことを短報（考古学雑誌では彙報と呼ぶ）として紹介するまでに不思議なことに1年半もかかった（1941年掲載）。

これにより考古学者が日本で翡翠が産することを知った。

1940年、考古学者・原田淑人は東大の吉村豊文に国内での翡翠産出の可能性について相談した際、吉村から翡翠に酷似する岐阜県丹生川村（現、高山市）の軟玉（透閃石岩）のことを知らされたが、吉村は河野や大森の1939年の翡翠論文のことを認識していなかった。

東大出身の小倉が歴史の浅い学術雑誌「岩石礦物礦床学」を知っていたのは、仙台出身であり、東北大の神津俣祐らとの交流があったから。

■今井一郎

旧制山形高等学校 生物学教授 在任期間1920-1944年

新潟県立糸魚川中学校（旧制）の博物と地理の教師だった1917年に、生徒の青木重孝が姫川と根知川の合流点に近い道路上で採集してきた緑色の石について「日本にはない珍しい鉱物」と鑑定したとされる。

その後、その石は行方不明。今井も特に発表をしていない。

今井の糸魚川中学の在任期間は1913年12月23日～1920年5月26日

青木重孝は高校教諭を経て郷土史家となり、糸魚川市史、青海町史を編纂し、青海川の翡翠の確認を茅原一也に依頼。

青海川の翡翠は進級論文として青海川を調査した坂野昇平・堀越叡らが先に発見し、指導教官の飯山敏道が青海町教育委員会に伝達していたが、堀越によれば青海川ヒスイ峡にある巨大な翡翠転石（重さ100トン以上）は翡翠と認識していなかったという。

■小林総一郎

山形県出身 上越病院糸魚川分院長 新潟医科大学卒 内科医

上越病院糸魚川分院長だった1939年6月、糸魚川で伊藤栄蔵が採取した緑色鉱物片を鎌上の次女の鎌上千恵子（看護婦）から入手し、義兄の河野義礼（東北大学岩鉱教室）に送る。

河野は神津俣祐が提供したミャンマー産の翡翠と鏡下で比較し翡翠と判断、同年7月糸魚川の小滝川を調査する。

河野の糸魚川での調査では、相馬御風や伊藤栄蔵は協力しなかった。

東北大に戻り化学分析。同年11月論文発表。

青木謙一郎によれば、当時、ナトリウムの分析は難しく、河野の翡翠輝石の分析値は極めて優秀とのこと。

河野が入手した試料を使って東北大の大森啓一も光学的性質を研究し、論文発表。

河野の義弟の小林には論文別刷が送られたと思われるが、小林は翡翠のことを紹介していない。

小林は利根川裕（糸魚川出身の作家、トゥナイトの司会者）の家に下宿していた。

■鎌上竹雄（1889-1974）

山形県東村山郡出身 元糸魚川警察署長 大所川発電所管理人

古事記、万葉集の記述から相馬御風（早稲田大学校歌の作詞者）が指摘した糸魚川産翡翠の存在の可能性を娘の義父の伊藤栄蔵に伝える。

伊藤栄蔵は1935年8月に小滝川で翡翠を発見。

翡翠産出は相馬御風の判断により1939年まで隠蔽され、朝日新聞に考古学者の八幡一郎（資源科学研究所）の情報提供により「新潟県某渓谷で翡翠発見」として掲載されたのは1943年だったが、他紙は追随していない。

一般社団法人 日本鉱物科学会 一般普及講演

日本の国石・ひすい

2018年9月22日(土)

13:00～15:30(開場12:30)

ゆうキャンパス・ステーション(山形駅前)

※ 小白川キャンパスではありません。ご注意ください。

入場無料
要申込み
詳しくは裏面へ

【山形大学附属博物館にて、特別展示開催！】

9月11日(火)～9月21日(金)

山形大学附属博物館において、特別展示「日本の国石・ひすい」を開催します。

新潟県糸魚川市フォッサマグナミュージアムより貸し出された大型のひすい、緑、紫、青、白、黒のひすいが展示されます。開館日時については附属博物館のホームページにてご確認ください。

日本の国石・ひすい

日本鉱物科学会は社団法人化の記念事業の一環として、2016年の総会で「ひすい（ひすい輝石およびひすい輝石岩）」を国石として選定しました。知名度、美しさ、学術的重要性のほか、日本人との関わりや産地の継続性・持続性など、多くの条件をクリアし、国のシンボルとして国石に選ばれたひすいは、どのようにして生まれ、どのようにして日本に根付いてきたのでしょうか。

プログラム

12:30 開場・受付

13:00-15:30 講演会（途中休憩をはさみます）

国石ひすいの基礎知識 宮島 宏（フォッサマグナミュージアム）

国石ひすいのサイエンス（第一部）辻森 樹（東北大学）

国石ひすいのサイエンス（第二部）辻森 樹（東北大学）

国石ひすいと日本人 宮島 宏（フォッサマグナミュージアム）

15:30-16:15 閉会后アトラクション

ひすいに触れてみよう、ひすいはどれかな？ひすいの重さ当てクイズ！ など

（参加者には素敵なプレゼントをご用意しております）

講師紹介



宮島 宏

糸魚川市フォッサマグナミュージアム上席学芸員

1957年東京都生まれ。信州大学理学部地質学科で丹沢山地の花崗岩質岩、東北大学大学院理学研究科博士課程で伊豆半島東部の火山岩を研究。都立養護学校と高校の教諭を経て、糸魚川市教育委員会に勤務し、フォッサマグナミュージアムの開設と運営に関わり、ジオパークという言葉を造語。2017年3月に定年退職し、現在は上席学芸員。糸魚川産の翡翠から糸魚川石などの新鉱物を発見し、新潟日報文化賞と日本鉱物学会櫻井賞を受賞。




辻森 樹

東北大学教授（東北アジア研究センター）

1972年石川県山中温泉生まれ。1999年金沢大学博士（理学）、地質学者。スタンフォード大学博士研究員、岡山大学助教・准教授などを歴任し、2015年より現職（理学研究科地学専攻を兼務）。世界の原生代・顕生代造山帯の広域変成岩類の研究を行い、過去のプレート境界岩から、固体地球の変動の歴史と地球内部のダイナミックな振る舞いの解釈に挑戦している。日本地質学会榊山賞（第一号）、アメリカ鉱物学会フェロー、アメリカ地質学会フェローなど受賞。

申込方法

事前申込制、先着順です（定員50名）。参加費は無料です。申し込みはメールでのみ受け付けます。Mail: JAMS2018yamagata@gmail.com

※ 件名には「普及講演参加申し込み」、本文には「参加者全員の氏名、年齢、お住まいの市町村名」をお書き下さい

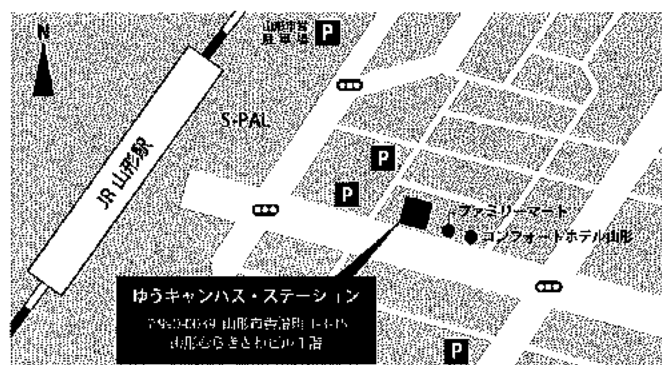
※ 参加の可否についてはお送りいただいたメールアドレス宛に返信をいたします

申込締切：9月14日（金）17時

日本鉱物科学会 2018 年会 一般普及講演

担当：加々島 慎一（山形大学理学部）

会場案内



JR山形駅東口から徒歩1分

※専用の駐車場はありませんので、近隣の有料駐車場をご利用ください

新規顧客開拓の考え方と進め方

～やるべきことがわかる顧客アプローチ～

新規事業の立ち上げや業績を継続的に伸ばしていくには、売上の源泉となる新規顧客の開拓が不可欠であり、それには、市場のニーズを的確に読み取り、自社の強みを活かした力強い営業活動が求められます。

この研修では、法人営業における新規顧客開拓の進め方を学び、ゼミナールを通じて、商材や業務ノウハウの強みを活かした、自社の新規顧客開拓の取り組み方を検討します。

本研修は、山形大学のEDGE-NEXT人材育成プログラムの拡張講座です。同プログラムの特徴は、経験豊富な外部講師を招き、具体的な事例に基づく講義や演習を通じ、実践的な『起業家精神』を持った人材を育てるものです。

同プログラムにおける新規事業の立ち上げ等に役立つ、中小企業大学校仙台校の営業管理者向け研修のエッセンスを取り入れた研修を、山形大学と共同開催するものです。

開講日	時間	会場	講義	担当講師
2018年9月26日(水)	9:30～12:30 13:30～16:30	山形大学	新規顧客開拓の本質	柴田孝 山形大学客員教授
			新規顧客開拓のプロセス	
9月27日(木)	9:30～12:30 13:30～16:30	山形大学	ゼミナール：新規顧客開拓プランの検討	島ノ内英久 (株)ウイレンス代表取締役 中小企業診断士
9月28日(金)	9:30～12:30 13:30～16:30	山形大学		

研修日程	2018(平成30)年9月26日(水)～9月28日(金) 3日間
受講対象者	中小企業・小規模企業の営業部門の管理者
会場	山形大学小白川キャンパス 人文社会科学部3号館8階 山形大学国際事業化研究センター 山形サテライト
受講料	28,000円(消費税込み) お一人様あたり
募集定員	上限30名 ※お申込みが多数の場合、定員を変更させていただく場合がございます。

EN Skyward 山形大学EDGE-NEXT 人材育成プログラム

中小企業大学校サテライト・ゼミ
営業管理者養成ゼミナール

会場 山形大学 小白川キャンパス (山形市)

講師紹介(敬称略)

柴田 孝
山形大学 客員教授
東北学院大学工学部卒。1969年米沢製作所入社。NEC米沢技術課長、開発部長、取締役、NECグループ数社の執行役員を経て、エヌワイデータ(株)(現NECエンベデッドテクノロジー(株))社長。2008年山形大学客員教授。米沢信用金庫顧問ほか、米沢地域において数々の公職を務める。

島ノ内英久
(株)ウイレンス代表取締役 中小企業診断士
九州大学大学院修了(工学修士)。ヤンマー(株)にて生産技術を担当後、米国イリノイ大学PIM(国際経営管理者養成プログラム)課程留学。帰国後プライスウォーターハウスクーパースコンサルタント(株)およびKPMGコンサルティング(株)での業務改革コンサルタントを経て、経営改善実践コンサルティング会社、株式会社ウイレンスを設立。

本研修に係るお問い合わせ・お申込み

独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部
中小企業大学校仙台校
〒989-3126 仙台市青葉区落合4丁目2番5号
Tel.022-392-8811 Fax.022-392-8812
E-mail: sen-kenshu@smrj.go.jp

<http://www.smrj.go.jp/institute/sendai/index.html>

仙台校

検索



会社名		ふりがな		() ()		() ()		() ()		() ()	
※代表者氏名		※代表者役職									
※所在地		〒		-							
※代表TEL		() - ()		F A X		() - ()					
貴社の事務連絡担当者		氏名		ふりがな		所属部署		役職等			
◇連絡先TEL				E - M a i l							
※業種 (該当するものに○印をつけてください)		1. 建設業		2. 製造業		3. 情報通信業		4. 運輸業		5. 卸売業	
		6. 小売業		7. 金融・保険業		8. 不動産業		9. 飲食店・宿泊業		10. 医療・福祉	
		11. サービス業		12. その他 ()							
※主要取扱品目		※創業		西暦		年 月		※資本金		万円	
貴社の大学校の受講実績		ある・ない		研修情報の入手先		1. ダイレクトメール (口郵送 □FAX □E-Mail)		2. 研修ガイド		3. インターネット	
貴社のEDGE-NEXTの受講実績		ある・ない		4. メールマガジン		5. 受講者の紹介		6. 商工団体等		7. 金融機関	
				8. 新聞・雑誌		9. 県・市等		10. その他 ()			

受講実績のある企業様は、※印の項目は変更・修正がある場合のみの記載で結構です。◇連絡先TELは代表TELと異なる場合ご記入ください。

研修コース名	新規顧客開拓の考え方と進め方					コースNo.	1 8 - 8 1		
氏名	ふりがな			年齢	歳	性別	男・女		
役職				役職区分	1. 代表者 2. 役員 3. 管理者 4. 管理者候補等				
その他留意事項	1. 車イス利用 2. その他 ()								

研修コース名	新規顧客開拓の考え方と進め方					コースNo.	1 8 - 8 1		
氏名	ふりがな			年齢	歳	性別	男・女		
役職				役職区分	1. 代表者 2. 役員 3. 管理者 4. 管理者候補等				
その他留意事項	1. 車イス利用 2. その他 ()								

会場ご案内



- 【J R山形駅から東方へ約2km】
- JR山形駅前から東原経由千歳公園行きバス(約10分)で山大前下車。
 - JR山形駅前から小白川キャンパスを約8分で結ぶ山形大学専用シャトルバス運行中。
 - JR山形駅前から県庁行きで山形南高校前(山大入口)下車、そこから徒歩5分。
 - JR仙台駅前から高速バス(約65分)で山形南高校前(山大入口)下車、そこから徒歩5分。
 - JR山形駅前から徒歩(約20分)。

会場 山形市小白川町1丁目4番12号

人文学部3号館8階
山形大学国際事業化研究センター
山形サテライト

注) 申込書が不足した場合は、お手数ですが、コピーしてご利用いただけますよう、お願いいたします。
注) 日程・講義内容は都合により変更する場合がございます。
注) 宿泊が必要な方は、各自で手配いただきますよう、お願いいたします。
注) 駐車場が必要な方は、各自で手配いただきますよう、お願いいたします。
◆個人情報の保護について
個人情報保護法に定義されています個人情報に該当する情報については、主催・共催者で実施する事業で使用させていただきます。当該個人情報の第三者(業務委託先を除く)への提供または開示はいたしません。ただし、お客様の同意がある場合および、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものとします。

平成30年10月

やまがた夜話

「秋の夜長 科学の話あれこれ」

10月はノーベル賞の発表の月です。秋の夜長を科学の話で過ごしてみませんか？ 山形大学理学部担当の研究者が、最新の研究をわかりやすく話していただきます。

10月 3日(水) 『ものづくりに活かすデータサイエンス
～データ駆動科学～』

講師: 瀬尾 和哉 氏(山形大学・教授)

10月10日(水) 『私たちの体の構成単位「細胞」から
生命を知る』

講師: 田村 康 氏(山形大学・准教授)

10月17日(水) 『放射線を利用する
～医療から天文学まで～』

講師: 中森 健之 氏(山形大学・准教授)

10月24日(水) 『高分子材料の特性
～だからみんなに使われる～』

講師: 松井 淳 氏(山形大学・教授)

※時間はすべて18:30～19:30です。

会場 ゆうキャンパス・ステーション
(山形むらきさわビル1階)

アクセス 山形駅東口より徒歩1分

対象 高校生・学生・一般市民

お申し込み チラシ裏面の参加申込書に
必要事項を記入の上、FAX、
郵送、メール等でお申し込
みください。

入場無料 定員:50名



主催

大学コンソーシアムやまがた

お申込み・お問合せ

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階
Tel: 023-628-4842 FAX: 023-628-4820
E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



FAX:023-628-4820

大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前々日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。 <input type="checkbox"/> 平成30年10月 3日(水) 講師: 瀬尾 和哉 氏 <input type="checkbox"/> 平成30年10月10日(水) 講師: 田村 康 氏 <input type="checkbox"/> 平成30年10月17日(水) 講師: 中森 健之 氏 <input type="checkbox"/> 平成30年10月24日(水) 講師: 松井 淳 氏
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	必須ではございません。

・受講申込者が定員を超えた場合は、入場をお断りさせていただく場合がございます。

・この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp